

作業完了報告書・ドニエプロメチーズ公開株式会社

圧縮機PKS 1.75U： 吐出し量は増加、運転電流は低減 分解不要、通常運転のまま

ドニエプロメチーズ公開株式会社生産部・XADO技術®による処理の実施：アズリート有限責任会社・報告書の承認：事業所の技師長Yu.P.ポレシコ

ウクライナ・2000年10月16日付契約書第16/3号・2001年1月10日付報告書

製品

「XADO技術®」
対象機を分解せずに行う摩擦部
位の修理・修復処理

処理対象機

圧縮機PKS 1.75U
ドニエプロメチーズ公開株式会
社生産部

文書の種類

作業完了報告書
双方の署名・押印付き

設備

処理方法

測定項目

圧縮機PKS 1.75U

分解不要、通常運転のままの処理

3.8 kgf/cm²時の充てん時間、運転電流

作業は2000年10月16日付契約書第16/3号に基づいて実施し、報告書には2001年1月10日に事業所および請負業者の試験委員会が署名した。

主な結果

↑ **36 %**

圧縮機の充填時間（3.8 kgf/cm²時）、30 → 22 s

↓ **16 %**

運転電流、25 → 21 A

圧縮機PKS 1.75U：処理前後の測定

パラメータ	処理前	処理後	変化
圧力3.8 kgf/cm ² 時の充てん時間	30 s	22 s	吐出し量+36%
運転電流	25 A	21 A	-16%

測定は運転中の圧縮機で行い、処理前後とも同一の圧力3.8 kgf/cm²で実施した。

報告書の結論

ドニエプロメチーズ公開株式会社およびアズリート有限責任会社の試験委員会は、次のとおり確認した。XADO技術®の使用により、設備の吐出し量を向上させ、それによって設備の寿命および修理間隔を延長すること、新しい設備の摩耗を防止すること、ならびにXADO技術®による圧縮機の処理を通常運転のまま支障なく行うことが、エネルギーコストの確実な削減を伴って可能である。その際、圧縮機は分解せず、運転からも外さなかった。処理は稼働中の対象機で行い、確認測定も処理前の測定と同じ運転条件で行った。本報告書は、XADO技術®を事業所で引き続き導入すること、および設備の定期保全の体系に組み込むことを推奨している。

XADO

© XADO。無断複製・転載を禁じる。

本結果は、ドニエプロメチーズ公開株式会社において通常運転のまま処理した圧縮機PKS 1.75Uに関するものであり、他の機器や運転条件では測定値が異なる場合がある。作業の実施および報告書の作成は、請負業者であるアズリート有限責任会社が行った。署名・押印のある2001年1月10日付報告書の原本は全文を公開しており、ダウンロードできる。